



はじめに

新年度を迎えました。本年度も愛知県埋蔵文化財センターでは、様々な事業を計画しております。

まず発掘調査ですが、昨年度から続く設楽ダム建設事業に伴う調査の他、下図に示す遺跡の調査を予定しております。調査成果や、現地説明会の開催情報は、私どものホームページなどで紹介してまいります。

普及・公開事業も多数計画しております。

まず春には弥富市の愛知県埋蔵文化財調査センターで【春の埋蔵文化財展】を開催します。平成三十年度の調査で見つかった遺物の速報展で、期間中の4月13・14日(土・日)には「やとみ春まつり」に合わせて「考古学縁日」と名付けたイベントも開催します。

夏は、当センターの業務を皆様にご紹介する【考古学体験とバックヤードツアー】を計画しておりますが、遺跡の現地説明会もこの頃から順次開催する予定です。

秋からは計画も多くなります。最初にご紹介したいのは、名古屋博物館を会場としたいくつかのイベントです。まずは、【秋の埋蔵文化財展】。こちらは「尾張の城と城下町

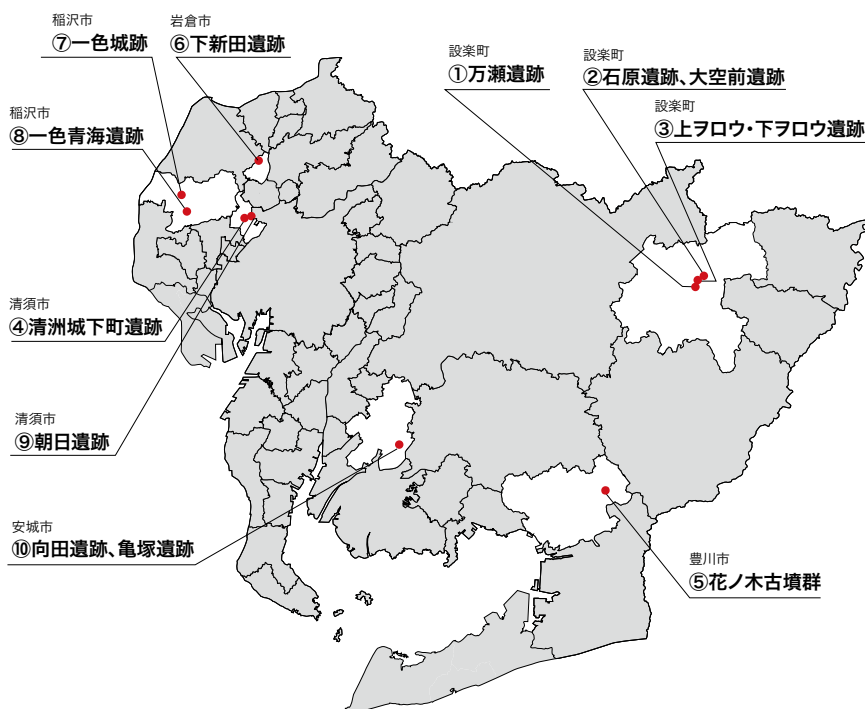
三英傑の城づくり・町づくり」と称した展示会を名古屋博物館と共催で、「発掘された日本列島2019」の「地域展」として計画しております。

内容は清洲城下町遺跡や名古屋城三の丸遺跡の出土資料を中心とした展示で、11月16日(土)から12月28日(土)まで開催します。なお、期間中には展示に関連した【連続講座】も予定しております。また、埋蔵文化財展開催中の12月7・8日(土・日)には、愛知県内を中心とした考古学に関わる人たちが集まり、それぞれの最新情報をお知らせするイベント【考古学セミナー「あいちの考古学2019」】も開催します。

また、【埋文市民大学】と命名した講座とワークショップを組み合わせたイベントや、好評をいただいております【連続歴史講座】も計画しております。本年度のテーマは「石の考古学」です。こちらは、埋蔵文化財調査センターで開催します。この他に、設楽地区の発掘調査現場を会場とする【発掘体験】などの体験型イベントも予定しております。

以上の様に、当センターでは本年度も積極的な情報発信に努めます。皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成31年度の調査予定遺跡



〒498-0017

愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24

電話：0567-67-4163

ファックス：0567-67-3054

ホームページ：http://www.maibun.com/

メールアドレス：doki@maibun.com

連続歴史講座 今年も4回開催！

石の考古学

最新の発掘調査成果を中心に
「石」に焦点をあてた講座

2019考古学の祭典

考古学セミナー

2019年12月7日(土)8日(日)

名古屋博物館にて開催！

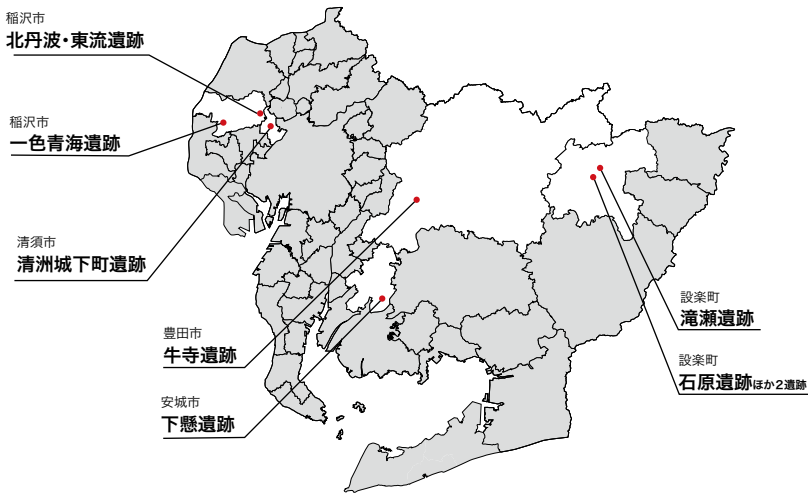
平成31年度 発掘調査成果報告会

新設楽 発見伝6

平成32年3月開催予定！

平成30年度の 発掘調査成果概要

平成30年度に当センターが行った発掘調査は、尾張地域で3遺跡、三河地域で6遺跡の合計9つの遺跡です。このうち7遺跡について調査成果の概要を紹介します。



愛知県内最古級の 竪穴建物跡群が発見される！

滝瀬遺跡

(北設楽郡設楽町八橋)

設楽ダム建設事業に伴う事前調査として、発掘調査を行いました。滝瀬遺跡は豊川上流域の境川右岸の河岸段丘上に立地しています。遺跡内には江戸時代の伊那街道が通ります。

調査では、縄文時代早期前葉以前(草創期末から早期初頭)の竪穴建物跡群、縄文時代後期から晩期の遺構群、平安時代の建物跡、近世の遺構群が確認されました。ここでは特に、縄文時代早期前葉以前の竪穴状遺構群について紹介します。

滝瀬遺跡の南西向きの丘陵斜面で十一基の竪穴建物跡(807SI・848SI・809SIなど)群が見つかりました。これらの竪穴建物跡は掘り込みが明瞭なものが多く、一定期間の居住を意識していたようです。しかし、炉

の跡や柱の穴が見つかっていません。また一つの竪穴建物跡の床面から遺存状態の良い炭化物が見つかりました。そこで、この炭化物を用いて放射性炭素年代測定を実施しました。その結果、およそ九千年前という結果が得られました。つまり、愛知県内でもっとも古い集落の調査事例となりました。

縄文時代中期前半と後晩期の 石器石材の変遷を把握！

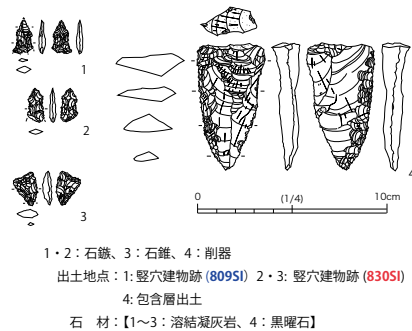
石原遺跡

(北設楽郡設楽町川向)

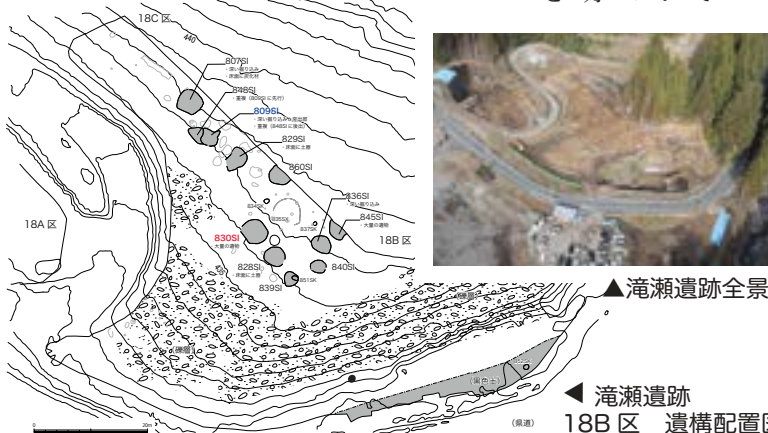
設楽ダム建設事業に伴う事前調査として、発掘調査を行いました。石原遺跡は、滝瀬遺跡よりやや下流に位置します。

今回の調査では、A区とB区に分けて調査を行いました。A区では縄文時代後期と晩期、B区では縄文時代中期前半が主体でした。この縄文時代中期前半の竪穴建物跡の調査は、東海地方でも珍しい事例となります。

また石器石材の利用についても重要な所見が得られました。それは、A区の石材が、凝灰岩や安山岩であるのに対し、B区では溶結凝灰岩と凝灰岩が主体となっていたことです。これは、石材利用の変遷について、縄文時代中期に画期があったのではないかと問題提起をする重要な事例と考えています。



▲竪穴建物跡などから出土した石器
(滝瀬遺跡)



▲滝瀬遺跡全景

▲滝瀬遺跡
18B区 遺構配置図



▲石原遺跡 竪穴建物跡 (325SI)



▲石原遺跡 石田炉 (330SL)

尾張国府域か？

「美濃」施印須恵器が出土！

きたたんば ひがしながれ
北丹波・東流遺跡

(稲沢市下津丹下田町ほか)

調査の結果、古墳時代前期、奈良時代、中世の大きく三つの時期を確認できました。古墳時代前期では、大きな溝や小区画の水田などを確認し、S字甕や壺、器台などが出土しました。

奈良時代の遺構では、溝群と竪穴建物群を確認しました。また溝からは、国府との関連をうかがわせる「美濃」施印須恵器が出土しました。この「美濃」施印須恵器は合計6点となり、窯

▲「美濃」施印 須恵器
(北丹波・東流遺跡)

跡以外の出土では全国3番目の点数となりました。中世では、井戸や溝を確認しました。また、井戸から中国産青磁皿のかげらや陶硯が出土しています。



▲調査区全景

河道と
居住域・墓域
の関係を把握いつしきあおかい
一色青海遺跡

(稲沢市一色青海町)

一色青海遺跡は、これまでに約三万六千㎡の発掘調査が行われ、弥生時代中期後半(高蔵式期)の集落の大部分が明らかになっています。今年度の調査は、集落中心部の北東付近に位置し、河道(溝)、居住域(竪穴建物跡)、墓域(方形周溝墓)と集落の主要な遺構が検出されました。居住域の時には竪穴建物跡が何度も建て替えられ、最大で5回の建て替えが確認されました。居住域の一部は後に墓域となりました。



▲方形周溝墓と竪穴建物群

16、17世紀の
清洲城下の町屋きよすじょうかまち
清洲城下町遺跡

(清須市清洲)

清洲城下町遺跡は、古代から江戸時代にかけての遺跡です。今回は、中堀と外堀の間にある町屋推定域を調査しました。その結果、戦国時代末の屋敷などを区画した溝や、屋敷内の井戸、柵などが確認されました。出土遺物には当時盛んに行われた喫茶などに使われたと思われる天目茶碗、長石釉の皿、すり鉢、土師器の鍋などが確認されました。他に獣骨片や漆碗、曲物なども出土し、当時の華やかな生活が推定されます。



▲曲物出土状況



▲調査区全景

牛寺廃寺との
関連はいかに？うでら
牛寺遺跡

(豊田市野見町)

牛寺遺跡は、豊田スタジアムの南側約1km、矢作川沿いの河岸段丘先端部に位置します。今年度の発掘調査は、昭和48年に発掘調査が行われた牛寺廃寺跡の隣接地で行われ、中世・近世の溝、古代の掘立柱建物跡などを確認しました。掘立柱建物跡の柱穴から須恵器や瓦の破片が出土したため、牛寺廃寺に後続する時代にも建物等が存在していたことがわかりました。寺院跡に関わる遺物は須恵器浄瓶の頸部があります。



▲調査区全景

古墳時代の
竪穴建物跡を確認しもかけ
下懸遺跡

(安城市小川町)

矢作川下流域、鹿乗川左岸の沖積地に位置しています。西方の碧海台地上には、姫小川古墳などの古墳群が展開しています。また川の流域には、寄島遺跡や五反田遺跡などが連続して存在しています。今回の調査では、上面で中世の溝を検出し、山茶碗や常滑産の甕などが見つかりました。また下面で古墳時代の竪穴建物跡、土坑、溝が確認されました。竪穴建物跡の床面には炭化物層が検出されています。



▲遺物出土状況

国指定重要文化財 春の特別公開 2019

朝日遺跡 の 土器たち



朝日遺跡は、名古屋第二環状自動車道と名古屋高速 6 号清須線の交差する清洲 JCT の付近に所在します。朝日遺跡の出土品 2028 点が、平成 24 年 9 月に国の重要文化財に指定されました。重要文化財の指定は、遺物の保存も目的とされていますので、普段はあまり展示されません。そこで、毎年、春と秋に、少しずつですが展示を行なっています。

今回展示する二重口縁壺は、古墳時代初頭から前期の遺物で、井戸の上層から出土しました。この他に重要文化財の遺物 3 点を展示します。

平成 31 年度 イベント案内



どなたでもお楽しみできます！



大人の方を対象としています！

4	3(水) 14(日)	どなたでも	春の埋蔵文化財展『やとみ新発見展』(しんはっけんでん)！2019』 & 春の特別公開 予約不要・参加費無料 ☆昨年度の発掘調査成果について、県内で一番早く展示解説を行います。また、国指定の重要文化財である朝日遺跡の遺物を特別公開します！ 4月13日(土)・14日(日)はキネクトゲームやツボ釣り、火起しマスター、輪投げのイベント開催！
5			
6		どなたでも	センター公開事業『こども向け バックヤードツアーと考古学体験』 要予約・参加費無料 ☆夏休みの子供向けバックヤードツアーと考古学の体験イベントです。これらを通じて、当センターの事業を紹介します。 ○開催日時：8月1日(木) == 詳細が決定次第 HP にてお知らせします。
7			
8	1(木) 24(土)	どなたでも	一宮総合運動場主催事業『考古学体験』 要予約・参加費無料 ○開催日時：8月24日(土) 午後1時30分から3時30分 * いちいち信金スポーツセンター 一宮総合運動場は、愛知県教育スポーツ振興財団の管理施設です。
9	14(土) 28(土)	大人向き	連続歴史講座『石の考古学』全4回 と 埋文市民大学 講座：予約不要・参加費無料 市民大学：要予約・参加費無料 ☆設楽地域などの最新の発掘調査成果を踏まえ、縄文時代から古代中世に至るまでの「石」について、専門の講師が解説します。 会場：愛知県埋蔵文化財調査センター 2階研修室 時間：講座-午前10時～12時 埋文市民大学-午後1時～3時 ① 9月14日(土) 講座と大学 堀木真美子 ② 9月28日(土) 講座のみ 田中 良 ③ 10月12日(土) 講座と大学 蔭山誠一 ④ 10月26日(土) 講座のみ 池本正明
10	12(土) 26(土)	どなたでも	愛知県旭高青少年自然の家 * 愛知県旭高青少年自然の家は、愛知県教育スポーツ振興財団の管理施設です。 旭高青少年自然の家主催事業『レッツ！発掘体験と温泉』 要予約 受付開始予定 8月下旬予定 ○開催時期：10月頃の予定 ○発掘体験遺跡：東三河地域を予定 == 詳細は旭高青少年自然の家の HP をご覧ください。
11	16(土)	どなたでも	秋の埋蔵文化財展「尾張の城と城下町 三英傑の城づくり・町づくり」 「発掘された日本列島 2019 展」の地域展として名古屋市博物館にて開催！ ☆戦国時代から江戸時代初期までの尾張における城づくりと町づくりをテーマに、遺跡の発掘調査成果を中心に展示します。 ○開催日時：11月16日(土) から 12月28日(土) 9:30-17:00 (ただし入場は 16:30 まで) ○会場：名古屋市博物館 ☆関連事業など詳細は、決定次第ホームページにて掲載いたします。
12	7(土) 8(日) 28(日)	大人向き	2019 年度『考古学セミナーあいちの考古学 2019』 予約不要・参加費無料 愛知県内と近隣の情報を手に入れることができるピックアップイベント！ 日時：12月7日(土)・8日(日) 会場：名古屋市博物館 地階講堂(発表)・展示説明室(ポスターセッション) == 詳細が決定次第 HP にてお知らせします。
1		大人向き	歴史講座「発掘された西三河の城 2」 予約不要・参加費無料 ☆岡崎城や豊田市内の城の発掘調査成果について報告します。 会場：愛知県青年の家(愛知県岡崎市美合町並松 1-2) 開催日：平成 32 年 2 月予定 == 詳細が決定次第 HP にてお知らせします。
2			
3	上旬	大人向き	設楽ダム関連発掘調査成果報告会『新設案発見伝 6』 予約不要・参加費無料 ☆平成 31 年度の設楽地区の発掘調査成果の報告会です。 == 詳細が決定次第 HP にてお知らせします。